

# 言葉は通じなくても授業はできた



岐阜県中津川市立福岡中学校

小木曾尚子

# 授業風景



# 願い

- 音楽の授業を根付かせること！  
日本人を必要としない日がくるように



---

# 日常で心がけたこと

## ■ 笑顔であいさつ

- ・「この国で私は楽しい生活を送っています」

## ■ 名前を早く覚える

- ・生徒の名前より職員の名前
- ・その人の特徴のメモをとる

## ■ たくさん誉め、認める

- ・言われるとうれしい言葉をたくさん覚えておく



日本人を分かろうとしてくれる

⇒ 今までの隊員が築いた信頼関係に感謝

---

# 宗教と人々の生活

- コーランがあるから
- お客をもてなすことが大切
- インシャ アッラー

違いを発見することが  
楽しい！



---

# 日本と比べて考えない

- 教員の体罰
- 勝手な成績のつけ方
- 教師の一方的な授業
- 音楽の授業は重要視されていない
- 子どもよりも自分たちの都合を優先



それはおかしい！と考えていると、自分の頭がおかしくなる！？⇒「自分はちゃんとしよう」

---

# 私の主な生活

- 日～水曜日は任地で授業
- 木曜日は首都に上がり、他の音楽隊員との会議や、教員講習会
- 金曜日は休み
- 土曜日は任地で音楽クラブ
- 夏休みや冬休みに教員講習会

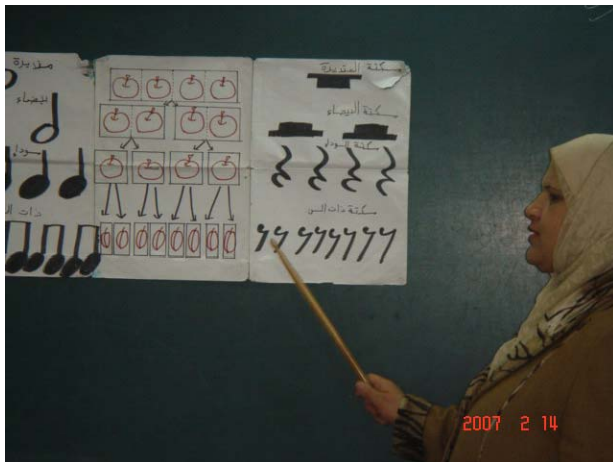


# 音楽の授業のなかった国で、 音楽の先生を育てる

- 1、首都の音楽教諭の講習会
- 2、地方の13人の小学校教諭の音楽講習会 **首都の音楽教諭がトレーナー**
- 3、13人の先生と授業を共に  
行いながらスキルアップ
- 4、小学校全教員を対象にした音楽講習会  
**13人の先生がトレーナー**



# 音楽の授業への意識が変わってきた！



---

現地の教員の協力がなにより大切！



---

# 今、振り返って実感すること

- 人間関係の大切さ
  - 自分が変わった
  - 中東問題、現地の人の声
-

# シリアの名所



# 音楽を通して出会えた仲間



# ご清聴ありがとうございました

